

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	LOVEITそら組
------	-----------

公表日 2025年 3月 25日

利用児童数 2025年 3月 10日 回収数 17

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	1		1		必要条件是満たしているが、今よりも安全に配慮したいとおもう
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15			2		必要条件是満たしている
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	3		1		わからないやどちらとも言えないがありますが、来所時や面談時にしっかりとご説明をする
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16					今後もより良い環境づくりに努めてまいります
適切な 支援 の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15			1		集団療育がメインですがその中でも職員がしっかり子どものことを理解し、1人1人にあった支援を行っている
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16			1		5領域に沿った支援を行っている
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16					今後も保護者との面談を通じてより良い計画書の作成に努めます
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16					今後も保護者との面談を通じてより良い計画書の作成に努めます
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16					適宜ミーティングを行い、周知し子どもたちの支援に繋げている
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	2		1	仕事内容は毎回変えていただいているが職種は固定	イベントなどで、違う職種を体験できる機会を設ける
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	1		7		他の子供と交流する機会がないため、必要に応じて機会を設ける
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16					契約時に書類を保護者と確認し、説明を行っている
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16					保護者に見学および計画書の確認を行っている
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	2		4	家族も参加できるプログラムは家と違う子供の姿が見れるのでありがたい。	家族参加の機会を増やす
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	15	1				送迎時やノートを使ってその日の様子をお伝えし共通理解を深めています
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	2				適宜面談を行い、普段の支援を見学していただいています
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16					保護者の意向に沿って支援を行っています
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	3	1	3		イベントなどで兄弟や保護者の交流はあるが保護者会の開催はないため希望があれば検討する
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16					契約時に説明を行っており、電話、LINEで責任者が窓口となり行っている
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16					適宜情報共有している	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14			2	写真付きで毎月子供も楽しみにしています	保護者に対してインスタグラムやブログでも発信していることを伝える
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14			2		個人情報の取扱いは細心の注意を払い管理を行っている
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1		1		保護者に対して説明を行い、実施したことはノートを利用し共有している
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12		1	3		毎年計画通りに訓練を実施している
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16					安全計画を周知し確認を行っている
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16					速やかに保護者に連絡をとり、説明と対応を伝えている
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16					信頼関係を築き安心して通所できるよう努めている
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	2		1	時々行きたくないという めっちゃ楽しみに通所しています	これからも子供達楽しく安心して通える事業所作りをしていく
	29	事業所の支援に満足していますか。	16					今後もより良い支援ができるよう日々の取り組んでいきます

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	LOVEIT そら組		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 3日		2025年 3月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日		2025年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お仕事プログラムやセンサリープログラム	お仕事プログラムでは、いろいろな職業を体験することができ集団療育の中でもここに合わせて支援を行っている センサリープログラムでは、子どもたちの五感を養う感覚遊びを用意しています。日常ではなかなか触れることのないものを触ることで感覚を鍛え今まで触れなかったものを触れるようになったり、新たな一面を見つけることができます	週替わりで職業が変わり中身も変わっているが、今後は職業の充実と個別療育にも取り組んでいきその立案をしている。
2	プログラムが終わるともらえるコインでお買い物体験	現在コインでお買物をプログラムの中または、イベントで保護者の前でのコインでのお買物を実施しています。 日々のお仕事プログラムが終わると1コインお渡ししています。それを使って「このセット3コインです」と言って子ども達に買い物の雰囲気味わってもらっています	コインだけではなくお札や、コインを使う回数を増やしより身近ものにしていきたいと考えています
3	修学準備プログラム	第1土曜日と第3土曜日の午後で開催している修学準備プログラムを実施しています。元小学校教員が作っており、実際に困ることや進学先での1日の流れを年長者を対象に支援しています。また保護者と面談をし個々の計画をし支援を行っています	子どもたちにとってその時間を楽しんでもらうと同時にしっかりと雰囲気を感じてもらえるように工夫をする

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との関わりが取れていないこと	近隣の保育園・幼稚園との連携、また地域との交流する機会を知らないというところ	今後近隣の保育園・幼稚園また地域と交流する機会があれば積極的に参加したいと考えています
2	保護者勉強会の実現ができていないこと	イベント等では顔を合わせ話す機会があるが、勉強会ほどのものを立案できていないのが現状	保護者に話を聞き保護者会の実施または勉強会の開催を希望の聞き取りを実施する
3	バリアフリー	階段を使わないと入退出できない	構造上改築不可能なので、職員がしっかりとついて補助をする

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		LOVEIT そら組		公表日		2025年 3月 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	家具の大きさ、やり方を工夫している		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		基準を満たしている		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		改善不可能な箇所以外では柵を取り付けるや靴下を脱くなどして怪我につながる可能性を減らしています		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		清潔な環境を保つよう努めています		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1		子供が個別で過ごせる専用の部屋はない、職員が別室でいっしょに見守る	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		回覧や共有を適宜行っている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		評価表を回覧し、業務改善内容も共有している		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		振り返り等を行い、業務改善に努めている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	回覧や共有を適宜行っている		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		計画を作成しそれに沿って行っている		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		周知している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		発達状況を観察し子どもに合わせた計画づくりに努めている		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		職員と話し合いを行い計画書の作成を行っています		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		共有を行い、課題や支援方法を周知している		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		標準化されたツールで確認し共通認識している		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		必要な項目を確認し、職員間で話し合い作成しています		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		個々の成長に合わせてプログラムの中での動きを職員間で立案している		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		課題に沿って内容を変えている		

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		集団療育の中でも個々に合わせて支援している	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		確認した上で活動している	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	次の日に、確認共有を行っている	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		毎日記録を取り検証、改善を行っている	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的にモニタリングを行い適宜見直している	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		必要時に行い、情報共有している	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		必要時に連携する	
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		連携をとり、情報共有を行っています	
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		入学予定の小学校と必要時には情報共有を行っている	
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	3		必要時に連携する
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7		必要時に連携する
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時やノートを使って情報共有を行っている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		必要とする支援を実施できるように努める
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に保護者と一緒に確認、説明を行っている	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		子どもの発達の状況を見て、保護者と面談を行い確認を行っている	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		項目ごとに説明を行い同意を得ている	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		対応をし、相談内容によっては面談を行っています	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3		イベントで交流する機会があるが、別途希望があれば検討する
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		対応をし、相談内容によっては面談を行っています	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		ホームページやSNSを使って日々の情報発信を行っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		鍵付きロッカーに保管している	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		伝え方を確認し情報伝達を行なっている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		必要であれば開催する
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		保護者に対して説明を行い、実施したことはノートを利用し共有している	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		毎年計画通り訓練を実施している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		保護者に細かく確認をしている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		食事の提供を無しにしている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画について周知し、適宜確認を行っている	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		緊急時の連絡方法など説明を行っている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットがあった場合は職員間で情報共有を行い改善点を話し合い、改善に努めている	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		全職員に研修を行っている		